



## 大怪我で知った 介護される側の気持ち

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（52）】素人のわたしが福祉の世界に飛び込んで（下）

公開日：2018/07/17 (ソサエティ)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉  
ベタニアホーム統括施設長）



イメージ（里村氏の施設とは関係ありません）

その後、心配していた出血もなく左肩と肘の手術は無事に終わりました。左腕に障害が残ると言われましたが、リハビリの成果で支障なく生活を送れています。

退院後、血液内科で血友病の疑いがあるとされ通院しましたが、不思議なことに1年後には正常値に戻りました。

通院にはクリスチャンの友が付き添ってくれました。大学病院で一人ぼっちで順番を待つ陰気な時間を考えると気分が沈みましたが、それを察してか、いつも彼女が側にいてくれたのです。

また、どうして階段から足を踏み外したのかと度々聞かれましたが、夜中に目がさめると身体が宙に浮いていて、落下したとしかいいようがないのです。

なので、私は長い間眠ると自分の意思とは関係なく身体が動く恐怖に苛まれました。

その原因をいろいろ調べましたが、強いストレスを受けてレム睡眠行動障害を起こしたのではないかと、自分なりの答えに到達しました。

振り返ると、これまでの私は他人の手助けを必要とすることがなかったので、介護される側の本当の不安と辛さを分かっていなかったのです。

けれども、そのアクシデントがあったからこそ、介護される人の気持ちをより身近に想像するようになりました。

そして、2008年広島県から推薦を受けて認知症介護指導者となりました。

その頃から、人格が壊れると言われている認知症の人の尊厳をどうすれば回復できるのかと、真剣に考え始めたのです。

そこで、2009年新たに認知症対応型デイサービスをオープンすることにしました。

すでに、定員30名の一般のデイサービスを実施していたので、認知症ゆえに孤立して利用を取り止め、どこにも行けずに難民となった人たちを多く見てきたからです。

認知症対応型デイサービスは定員が12名ですが、スタッフは3人以上います。そのため、一人一人の利用者に合わせた個別ケアを提供できるので、認知症の人にとって効果的なサービスだと自負していました。

できるだけ薬に頼らずケアで認知症を緩和あるいは維持したいと考えました。

ところが、このデイサービスにはなかなか利用者が集まらないのです。

認知症の親を持つ家族からすると、一般のデイサービスも利用できるのに、認知症の人ばかりの所には行かせたがらない傾向があるのです。

その上、ケアマネジャーにも利用者本人や家族に、認知症専門のデイサービスを勧めることには抵抗があると言われたのです。

しかし、苦戦しましたが（今もそうです）、他の事業所を利用できなかった認知症の人が、喜んで継続利用されるのを見て確信しました。

尊厳を守るケアとは、私たちの法人理念、聖書「人にしてもらいたいと思うこと

を人にもしなさい」にもあるように、嘘をつかない、ごまかさないで誠実に敬意を持ってケアをすることだと。

私たちが以前は認知症の人はすぐに忘れるので、不安を取り除こうとして嘘を言っていたことがあります。認知症の人が感情で記憶していると知らなかったのです。

それが認知症の人の人格を否定し、信頼を失うことに繋がると気づきもしませんでした。

また、認知症になったからといって幼児には戻るわけではないので、人生の先輩として敬うことが大切なのです。

高齢者の細胞の中には経験と知恵の暗黙知が息づいているのです。敬意を持って接しないと自尊心が低下し認知症は進行します。

認知症の人と癌などの病気の方は、人として同じ関わり方をすることは当然なのです。

そんな当たり前が通用しない現実がありますが、そこに止まっているわけにはいきません。

私たちは2013年サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、地域に開放したカフェを、続いて2017年東京の荻窪で訪問看護ステーションを開きました。

私はこの20年間で多くの認知症の人と接し人生を学びました。

それを糧にアクシデントから復活した私は、認知症の人だけでなくその家族や介護現場で働く私たちの尊厳も守られるケアの実現を夢見て前進するのです。

そう遠くない日に、安心して認知症になれる社会が来ることを信じて。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [無人レストランへ「EATSA」の挑戦](#)
- > [韓国検察、財閥捜査を一段と加速](#)
- > [歴史を知らずの幼稚なトランプ、訪欧で欧米関係を壊した](#)
- > [今週の4本 アマゾン着々と金融・保険で橋頭保](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子( 社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

[FAQ](#)

編集長プロフィール

[利用規約](#)

利用案内

[プライバシーポリシー](#)

著作権について

[特定商取引法に基づく表示](#)

メーカーソクラ

[お問い合わせ](#)

お知らせ一覧

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved